

協働のまちづくり 第47回

これまで、そして、これから

協働請負人
市民活動を支える団体

むなかた市民フォーラム

その②

市民活動を支援・促進することを目的とした市民活動団体「むなかた市民フォーラム」。その運営を支える中心的な役割を担うのが、平成22年4月から事務局長に就任した梶栗みきさんです。今回は、市民フォーラムに入会した動機や今後の運営などについて話を聞きました。

市民活動交流室 ☎(36) 0311

市民フォーラムって 遠い存在だった

「市民フォーラムがわたしたちのために何をしてくれるの？ 行政主導の組織で遠い存在よね」。ほかの市民活動団体で活動していた梶栗さんにとって、市民フォーラム

市民フォーラムが 動き始めた

「入会したころの市民フォーラムの活動は、なかなか先が見えない状況で、わたしもただ傍観するだけでした。正直、辞めようかなと思ったこともありましたね」。

しかし、平成18年に施行された「市民参画条例」をきっかけに、市民と行政の「協働」の推進役に市民フォーラムの存在がクローズアップされたのです。

市民フォーラムが 目指すもの

「市民フォーラムが一番大切にしていることは、人と人のつながりです。連携や協働を口で言うのは簡単ですが、人間の信頼関係なくしては成り立ちません。顔を合わせて話をすることも、初めてわかることも多いのです」。

交流の場として定期的な「つながれ広場」を開催し、団体の活動紹介や、環境問題、青少年育成問題などをテーマに意見交換会を展開する市民フォーラム。4月からは、市民活動交流館を拠点とした「市民活動サポート事業」を市の協働委託事業として受けることも決定しました。事務局体制も大きく変わり、責任も重大です。しかし、前に進むしかありません。

「以前感じていた『市民フォーラムは、市民団体のために何をしてくれるの？ 遠い存在よね』という思いは、常に自分が意識しなければいけないと思っています」と当時を振り返りながら語る梶栗さん。「市民団体や市民のみならずから信頼される団体となるためには、市民フォーラムのメンバーが協力し合い、努力を積み重ねていくしかないと思っています」。

市民活動交流館 館長 立石実



市民活動団体からの相談に応じる梶栗さん(左)

その後、平成20年4月、市民活動交流館(メイトム宗像)のオープンをきっかけに、市民活動交流室の非常勤嘱託職員として勤務することになった梶栗さん。仕事を通して、行政が市民フォーラムにかける期待や市民活動団体の活動実態などを少しずつ知るようになりました。

「試行錯誤の結果、平成19年に市民活動団体の活動を紹介する冊子を作成しました。このことから、わたしも少しずつ事務局的な役割を担うようになりまし。市民活動交流館の検討委員会のメンバーに加わったことも、市民フォーラムの活動により深くかかわるきっかけになりました」。行政主導でスタートした市民フォーラムの活動も、自分たちができることを積み重ねることによって主体的に行動する団体へと変わっていったのです。

宗像市消費生活センター

転ばぬ先の杖

☎(33)5454

ではんぢちゃん

和服や貴金属の訪問買い取りに注意

最近、不用な和服や金やプラチナなどの貴金属を使ったアクセサリーの「訪問買い取り」に関する相談が増えています。

相談事例1

不用な着物や貴金属の買い取りをするという電話があった。「無料で査定をするので訪問していいか」と言われ、承諾したが大丈夫か。



相談事例2

突然、家に貴金属の買い取り業者が来た。「医療機器の製造に必要」と言われ、役に立つならと思い、指輪やネックレスなど5点を見せた。業者は、宝石が付いたまま重さを量り、3万8,000円を手渡した。夜、安く売ったことを後悔して、次の日に「返してほしい」と電話をしたが、「金とプラチナはすでに溶かして、宝石は処分した」と言われた。



アドバイス

事例のような、和服や貴金属などの古物を扱う業者は、都道府県の公安委員会の許可が必要です。訪問する時は、「許可証」か「行商従事者証」を携帯しなければいけません。しかし、許可された業者であっても、返還を希望した時に、「溶かした」「処分した」「現物はない」と言われ、取り戻すことは非常に困難です。

また、消費者が物品を業者に売っているの、特定商取引法の訪問販売には該当しないと考えられ、クーリング・オフ(無条件解除)はできません。

勧誘された時は、①許可証などを確認する②必要がなければ、はっきりと断る③買取価格を調べて即決はしない④家族や友人ら複数で対応する⑤売るときは業者の連絡先などが書かれた書面をもらうことなどを心がけましょう。愛着のある品物を手放す時は、よく考えて慎重に。

多重債務電話相談

<p>■県弁護士会</p> <p>毎週土曜日</p> <p>10:00~13:00</p> <p>* 祝日は休み</p> <p>☎092(721)6778</p>	<p>■福岡財務支局</p> <p>毎週月~金曜日</p> <p>9:00~17:00</p> <p>* 年末年始、祝日は休み</p> <p>☎092(411)7291</p>
---	--

晴れやかな門出を祝う

2011年 宗像市成人式

祝 成人式

昨年に続き「市民サービス協働化提案制度」を活用して(社)宗像青年会議所が企画・運営する「2011年宗像市成人式」が1月9日、宗像ユリックスで開催されました。今年、成人を迎える人は全国で約124万人、市では1,030人です。



再会した仲間と式を楽しむ新成人たち

式では、谷井博美市長が人生を山登りに例え、「登山をするには、綿密な準備と細心の注意が必要で、臨機応変な対応が求められます。そのためには、仲間との協調、協力が欠かせません。人生も努力を惜しまずに目標を持ってチャレンジすること、協調、相手を思いやる気持ちを持つことが大切です」と新成人にエール。

新成人を代表して河東中学校卒業生の瀧澤秀平さんが、「郷里の素晴らしさや両親への感謝の気持ちを忘れることなく、感謝されるような大人になりたい」と抱負を述べました。

新成人たちは、同会議所が各中学校の卒業アルバムを編集・制作したビデオ「青春グラフィティ」の上映や卒業中学校ごとの合同記念写真撮影会など、久しぶりに再会した仲間と思い出話に花を咲かせ、楽しいひとときを過ごしました。

同会議所理事長の中村好成さんは、「今年は2年目だったので、スムーズな運営ができました。来年はさらなる挑戦をしていきたい。新成人のみなさんには、宗像で生まれ育ったことに自信を持ち、何事にも情熱を持って取り組んでほしい。みなさんの活躍を期待しています」と語っていました。

2012年の成人式は、1月8日(日)に宗像ユリックスで開催する予定です。

■問い合わせ先 市民活動推進課 ☎(36) 1540